

仙石線開通 90 周年記念 仙台～石巻間



宮城電鉄・仙石線の歴代電車（みちのく鉄道応援団の 1/80 模型展示より、2018.04.15）

○仙石線開通 90 周年・プレイベント 11/10(土) ・「全国運河サミット in みやぎ」ポストイベント

サンセット・ムーンセット・クルージング + 牡蠣を食する会

仙石線に乗って、近世から明治、そして現在までの時空間を旅してみましょう。

仙石線は、奥松島への観光、野蒜海水浴場や東名浜の潮干狩り・釣りなどのレジャー、そして通勤通学など私たちの重要な交通手段でした。まず、仙石線に乗って野蒜駅へ！そこから、船に乗って、伊達政宗も遊んだ島々へ！

幻の港・野蒜築港の置き土産・東名運河から松島湾へ、幕末からの塩田開発・東名浜を眺めながら、野蒜築港の汽船の錨地・潜ヶ浦へ。舟から、釣り糸を垂らし美味しいいづを釣りながら、政宗の兜の三日月を天空に見上げます。

夕日は蔵王連峰へと沈み、天空の時々刻々変化する光の彩りと造形を堪能します。そして、奥松島の美味しい牡蠣も待っています。JR 仙石線・旧野蒜駅前の東名運河（不老橋）からの乗船です。

日時：2018 年 11 月 10 日（土）13：30（集合）

集合場所：東松島市震災復興伝承館（旧野蒜駅）

費用：船の燃料費などの実費を徴収します。

日程：14：00 乗船～16：30 下船、その後、有志で「牡蠣を食する会」を実施。三日月と夕日が蔵王連峰に沈みます。

14：00 東名運河（不老橋）の階段護岸より出航

～東名運河～東名浜～野蒜築港・錨地・潜ヶ浦～伊達政宗・御遊び所～、ハゼ釣りも行います！

日の入 16：26 月の入 18：27 満潮 16：09 +38 干潮 10：41 -28 23：13 -101 大潮。

仙石線開通 90 周年記念フォーラム ～仙台・石巻間～

昭和 3 年 11 月 22 日、宮城電気鉄道（現 JR 仙石線）が仙台から石巻まで全通し、今年で 90 周年となります。

宮城電気鉄道は、山本豊次が細倉鉱山で使用予定の余剰電力の消化手段として設立された私鉄です。宮城電鉄は松島公園や野蒜海水浴場などの観光に尽力し、戦争末期の昭和 19 年に戦時特別措置で国有化されて仙石線となり、戦後はラッシュアワーで有名でした。また、奥松島の名産品・野蒜石の運搬、東名浜の潮干狩り、松島基地の航空祭など、産業、観光、レジャー、通勤通学など重要な交通手段でした。一方、さまざまな電車が関東などから転入され、形式も色合いも多彩でした。

東日本大震災で被災した JR 仙石線の廃線跡は、津波を回避した「奇跡の丘」や、震災伝承館となった旧野蒜駅など、地形の成り立ちと津波被災を学習する JR の研修地ともなっています。

現在、高台ルートとなり、東北本線経由の仙石東北ラインも走り出し、新たな仙石線物語が始まっています。仙台から石巻までの 90 年間にわたる仙石線沿線の物語を多くの方々と広く意見・情報などを交換し、仙石線のさらなる利活用につなげていきたいと考えております。

JR 仙石線・廃線跡に学ぶ & サンセット・ムーンライズ・クルージング + 牡蠣を食する会

東日本大震災で仙石線を走行して被災し「く」の字の折れた電車や微高地で待機し津波を回避した「奇跡の丘」など、地形の成り立ちと被災状況について、JR の研修地ともなっている廃線跡を歩きながら学びます。また廃線跡の踏切名からも野蒜の地の風土と生業をひも解きます。また、明治期の「水の道」東名運河、昭和期の「鉄の道」仙石線、いずれも奥松島の名産品・野蒜石を運んだ歴史がありました。また、仙石線は、観光、レジャー、通勤通学など重要な交通手段でした。

まずは、仙石線に乗って野蒜駅へ！そこから、船に乗って、伊達政宗も遊んだ島々へ！

日時：2018 年 11 月 22 日（木）13：30（集合）

集合場所：JR 仙石線 野蒜駅 改札出口

JR 仙石線・廃線跡に学ぶ：定員 50 名、サンセット・ムーンライズ・クルージング：定員：20 名

費用：保険代を徴収します。クルージングは船の燃料費などの実費を徴収します。

日程：13：40 JR 仙石線野蒜駅出発～仙石線・廃線跡（奇跡の丘）を散策、14：50 旧野蒜駅着、震災復興伝承館（旧野蒜駅）で、津波で曲がったレールと東名運河の津波減災効果を学習、15：15 東名運河（不老橋）の階段護岸より出航、～東名運河～東名浜～野蒜築港・錨地・潜ヶ浦～伊達政宗・御遊び所～東名漁港 16：30 下船、その後、有志で「牡蠣を食べる会」を実施。日の入 16：18 月の出 15：57 満潮 14：26 +30 干潮 08：39 -39 大潮 ほぼ満月

○仙石線開通 90 周年記念フォーラム ～仙台・石巻間～

場所：東松島市野蒜市民センター（展示・話題提供）、震災復興伝承館（旧野蒜駅：レールスター体験）

日程：2018 年 11 月 23 日 10：00～11 月 25 日 15：00（予定）

○レールスター体験 11 月 23 日 10：00～13：00 震災復興伝承館（JR 仙石線・旧野蒜駅）

JR 仙石線の旧野蒜駅は津波遺構の一つとして震災復興伝承館となりました。しかし、ホームの陸側にある津波で曲がったレールに気づく訪問者は少なく、現地での解説も十分とは言えません。そこで、鉄道の保守点検に活躍しているレールスターを用いて曲がったレールでの走行を次世代の子供たち等に五感で体験してもらい、津波の威力や東名運河の津波減災効果を学びます。また、鉄道が当たり前動くのは、これらの保守点検であることも学びます。レールスターは現役の保線作業車です。状況によっては時間変更や中止になることもあります。あらかじめご了承ください。



<https://ja.wikipedia.org/wiki/軌道自転車>

○仙石線開通 90 周年記念フォーラム 開会式 11 月 23 日（金）

13：30 開会式 挨拶：東松島市長、石巻駅長、祝辞：（予定）

13：45～15：30 話題提供「仙石線を語る」

○「仙石線を語る」シリーズ 全 5 話（場所：野蒜市民センター 2 階会議室）

進行役 野蒜塾 後藤光亀

第 1 話 ～画像で見る仙石線～ 仙台：庄子喜隆さん（30 分）

仙石線の写真紹介、仙台駅の立ち食いソバ屋や鳴瀬川の風、仙石線の鉄道唱歌などを紹介。

第 2 話 ～廃線跡の利活用～ 仙台：ガイドボランティア「宮城野原案内人の会」（15 分）

仙石線の地下化に伴う廃線跡利用・踏切跡の案内標設置（仙台市との協働）事例を紹介

第 3 話 ～仙石線の 12 カ月～ 仙台：亀谷英輝さん（30 分）

昭和 50 年代に撮影した仙石線各駅停車乗車記録映像（90 分）、一駅毎に撮影を重ねて撮影。仙石線旧仙台駅乗り場、高架橋に切り替え工事中の本塩釜周辺、旧東名駅、旧野蒜駅、旧鳴瀬川鉄橋等々当時の様子を記録。

第 4 話 ～仙石線の記憶～ 野蒜：斎藤 均さん 松川清子さん（30 分）

仙石線の思い出を、会場の皆さんと共有しながら意見交換します。

第 5 話 ～思い出の記念キップ～ 石巻：扇 忠和さん（国鉄 OB、30 分） 11 月 25 日 11：00～11：30

石巻駅の旅行センターでの仕事や記念キップなど、仙石線への想いを語ります。

○鉄道模型 1/80 のジオラマ走行（場所：野蒜市民センター 2 階会議室）

11 月 24 日 11：00～16：00

11 月 25 日 10：00～15：00

みちのく鉄道応援団、佐藤 茂さん「七色の仙石線物語」の話題提供付きです。

今回は、仙石線と東北本線経由の仙石東北ラインをイメージしたジオラマ走行です。

○仙石線の歴史・写真・パネル展（場所：野蒜市民センター）

11 月 23 日 12：00～11 月 25 日 15：00

仙石線年表、仙石線への想い、知ってました？仙石線（写真集）、仙石線七色？の電車、仙石線踏切ものがたり、仙石線鉄道唱歌、仙石線撮影スポット、仙石線のサスペンス、仙石線廃線跡踏査、大回り乗車
鉄道関連品の展示（行先プレート、タブレット、電車・線路の金具など）…

○仙石線開通 90 周年を祝う会 ～仙台・石巻間～

11 月 24 日 17：00～19：00 場所：えんまん亭 希望者は、連絡先の後藤まで。費用 3500 円程度。

主催：野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会

共催：東松島市、野蒜築港ファンクラブ、東名運河の再生復興を促進する会

協力：JR 東日本仙台保線技術センター、みちのく鉄道応援団、宮城野鉄道研究会、宮城野原案内人の会

後援：JR 東日本石巻駅、野蒜まちづくり協議会（予定）

連絡先：後藤光亀（野蒜塾）携帯：090-4476-0810、E メール：kokigotoh@gmail.com